

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施結果報告  
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

長野県諏訪市

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
1	総合戦略策定事業	基礎交付	6,945,584	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤						地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	総合戦略の各施策に掲げた重要業績評価指標(KPI)に基づき、進捗管理や効果検証を行うことで必要に応じて総合戦略を改訂することが大切。それにより将来戻ってこよう、ここに残ろうと思うことにつながると思う。将来計画を立てることは必要。 ・チャレンジングな事業で地方創生に取り組んでほしい。
2	インターンシップ促進支援事業	基礎交付	96,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	インターンシップ受入数	30	人	平成28年3月	10	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	追加等更に発展させる	生徒から、有意義な体験で将来の仕事を考えるうえで非常に効果があったとの話があり、企業からも、今後も積極的に受け入れたいとの話をいただいている。一方で、補助対象の受入日数は5日を上限としている。特に高等専門学校生や大学生を対象にした受け入れは、10日～2週間程度と比較的長い期間であるため、今後、補助対象受入日数の増加を検討していきたい。
3	雇用促進奨励補助事業	基礎交付	865,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	中高年齢者等雇用人数(延べ)	40	人	平成28年3月	49	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	雇用事業はすぐに効果が目に見える事業ではないため地道な取り組みが必要であり、事業を継続するが、若い世代や子育て中の女性への雇用対策についても検討していく。
4	工場等立地促進助成事業	基礎交付	10,827,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	工場立地促進による従業員雇用創出数	10	人	平成28年3月	57	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	追加等更に発展させる	中国など労働賃金の高騰により、近年、海外にシフトしていた生産拠点が国内に回帰する動きがあり、来年度以降も引き続き助成対象企業が増加すると見込まれるため、事業を継続し、助成率や助成額の増加等を検討していきたい。(平成28年度…新規(初年次)数社、2年次4社、3年次2社の見込み。)
5	生産設備投資促進事業	基礎交付	3,238,193	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	生産設備取得による新規事業創出数	5	事業	平成28年3月	11	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	生産性の維持・向上による経営基盤の強化は大変重要である。最新の生産設備を導入することにより、新規事業への展開も図れることから、雇用の創出へつながる。しかしながら、生産設備(機械)は高額であり、また日進月歩で進化するため、導入に際して引き続き支援を行う必要がある。

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
6	買物マップ作成事業	基礎交付	150,698	指標①	買物マップ配布数	21,000	世帯	平成28年3月	6,000	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	<ul style="list-style-type: none"> <li>役に立つ、見やすいものになっていると思う。</li> <li>店舗側から見た、地域の集客の現状確認も大切だと思う。</li> <li>周辺の状況はすでに住民は知っている。</li> <li>他のマップ等と連携しても良いのでは。</li> <li>超高齢化社会の到来で買い物弱者は増加が見込まれるため、これまでは異なるアプローチを考える必要がある。</li> </ul>	予定通り事業終了	マップへの掲載内容、配布世帯に大きな変更がないため当初予定通り事業を中止。今後は必要に応じて対応。
				指標②										
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
7	推薦みやげ品PR事業	基礎交付	612,497	指標①	推薦みやげ品ホームページ閲覧数	6,000	件	平成28年3月	9,099	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネット上での発信にもより力を入れてもらえると良いと思う。</li> <li>もと個店のブランド化が必要。</li> <li>引き続き、提出し物のお土産を見つけてほしい。</li> <li>他にない特長を打ち出し商圏を拡大しないと、人口減少に伴う売上減少は今後も進んでしまう。</li> <li>長い年月をかけて醸成し、時代に合った土産品の多くのアイデアが出てくることを期待する。</li> </ul>	追加等更に発展させる	更なる推せんみやげ品の宣伝周知を図るためパンフレット作成を継続し、新たに「諏訪市みやげ品開発事業奨励金」の制度を創設し事業者の開発、販売意識を高める。
				指標②										
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
8	空店舗活用補助事業	基礎交付	1,500,000	指標①	空店舗を活用した新規創業者数	5	件	平成28年3月	3	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続的な活動が続けられるように、住民への情報発信があると良いのでは。</li> <li>引き続き、商店が活性化できるような事業は必要。</li> <li>人口減少を前提とした空店舗活用支援が必要だと思われる。そうでないと、投資が無駄になる可能性は大きい。</li> <li>旧市街地の活性化の観点から、対象業種を一層広げてはどうか。</li> </ul>	事業の継続	制度化初年度のためPR方法、限度額等の検討改善要素はあるが短期的に有効な事業として現状のまま継続する。商店街の各種イベントへの補助支援の継続、アドバイザーによる助言・指導、商工会議所・金融機関との更なる連携を図り、その後の運営を含めた創業者、商店街への継続的な支援を続ける。
				指標②										
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
9	20歳のヘルスアップ事業	基礎交付	221,260	指標①	クーポン利用者の継続利用率	10	%	平成28年3月	12	地方創生に効果がなかった	総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康維持は本人のためにも、家族のためにも、市としても重要。</li> <li>20歳への配布でなく、もう少し若い世代に配布した方が効果的ではないか。</li> <li>利用しやすいように改善が必要。</li> <li>すわっくらんどが若者の健康づくりのニーズに合致しているか不明である。</li> <li>「健康づくり」と「故郷に帰ってきてもらう」ことを結び付けることに無理がある。</li> </ul>	事業内容の見直し(改善)	今年度から開始した2つの事業(①健康づくりプロジェクト、②40歳未満検診)に移行することにより、20歳に限定することなく若年層を幅広く対象にした健康づくり事業とすることで見直しを行った。
				指標②										
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
10	20歳からの歯科健康診査事業	基礎交付	688,548	指標①	対象者の歯科健康診査受診率	15	%	平成28年3月	5	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診への広報、意識付け、受診しやすい環境づくりを続けてほしい。</li> <li>20歳以下のとき、何のサポートがあるのか周知すると良い。</li> <li>レントゲン撮影で本人の自覚を促すことは良い取組。</li> <li>「諏訪市へのUターン」と結び付けるのは若干無理がある。</li> </ul>	事業の継続	市民の疾病予防、医療費適正化のためには、若年層への保健サービスを提供し、健康への意識を高めることが必要であるため、今後も継続していく。健診の広報を継続し、受診率向上を目指す。
				指標②										
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
11	諏訪市医師会附属看護学院補助事業	基礎交付	2,000,000	指標①	准看護士資格試験合格率	90	%	平成28年3月	100	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・資格を生かせる場の環境整備も大切。 ・諏訪市は医療機関が多く、看護事業の充実が必要。 ・地域医療の将来のためには必要。 ・地域医療が充実して、看護資格を持つ大勢の皆さんが地域にいらることは心強い。	事業の継続	引き続き事業を継続し、諏訪市医師会附属看護学院における看護基礎教育の充実・発展を目指し、質の高い看護教育の内容を充実させることにより、地域医療の充実や疾病予防等、地域住民の福祉と健康増進等を図っていく。
12	特別支援教育支援員配置事業(小・中学校)	基礎交付	12,573,888	指標①	特別支援教育支援員による年間支援時間(1000時間)	14,400	時間	平成28年3月	14,338	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・引き続き、児童生徒の気持ちに応えられるよう、発展、継続してもらいたい。 ・特別支援を必要とする未来ある子どもに手当てできる制度は必要。 ・障がいがある子どもも自立できる社会を構築するためには必要。 ・地域ぐるみで支援できる体制も長期的には必要だと思われる。 ・障がいを克服するためには、粘り強い先生との対話と教えが必要。	追加等更に発展させる	特別支援教育支援員による個別の指導は児童本人の「学びたい」という気持ちに応える大切な事業であり、平成28年度は特別支援学級への入級児童・生徒の増加に対応する支援員の増員(小学校5人(1人増)、中学校5人(1人増))を行った。また、平成28年4月から施行された障害者差別解消法への対応としても必要な事業と判断しています。
13	縁結びサポート事業	基礎交付	634,166	指標①	イベントでのカップリング数	18	組	平成28年3月	12	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・参加者がより集まりやすい取組に期待したい。 ・民間などに任せてみてはどうか。 ・20代の独身男女で結婚したい人の割合は減少している。多くの理由が収入が少ないこと。	事業内容の見直し(改善)	未婚者の出会いイベントについては、プライバシー保護等の観点から市が行うことに対する安心感、期待感がある一方、女性参加者が集まりづらい傾向にあり、若者が参加しやすい場づくりを続けることで出会いのきっかけづくりを継続してサポートする。また、今後は未婚者へのアプローチだけでなく、社会全体で若者の結婚の希望をかなえる機運を育むための取組について、関係者から意見を聞くなどして検討していく。
14	父親向け子育て支援事業	基礎交付	348,208	指標①	父親学級参加率	20	%	平成28年3月	17	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・父親の意識向上に向けて続けてほしい。 ・女性の社会復帰、子育て負担軽減のためにも必要な事業だと思ふ。 ・イクメン手帳は良くできており、祖父母にも参考となる。 ・イクメンに対する企業側の理解も重要と思われる。 ・少子化を止める大きな事業だと思ふが、がむしやに会社のために働くことをよしとしない若者が増えると、企業の人材育成や将来構想に障りが見えることも恐れている。	事業の継続	平成27年度I、今まで実施してきた父親学級の内容を充実させて、質を向上させた。満足度も高いものとなっている。今後も、参加者のニーズに合わせた講座内容を工夫しながら、参加率を向上させ、安心して出産、育児ができる環境を整備する。
15	DMO設立を視野に入れたビーナズラインを基軸とした広域観光事業	タイプI	455,000	指標①	事業者向けセミナー参加者数	30	人	平成28年3月	26	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・ガイドの必要性、どのようにガイドが活躍しているのかの発信が、今後の取組につながると思う。 ・ビーナズラインの知名度は低いと思う。各行政で連携して知名度を高めるため有効。 ・連携はすばらしい。本来、観光に訪れる客からすれば行政は関係ない。 ・最終的には広域DMOでまとめてほしい。諏訪地方観光連盟だけでなく、諏訪地域6市町村の観光協会との連携を進めてほしい。	事業の継続	翌年度継続となったガイド育成、GAP調査を受けてのビーナズラインブランドづくりへの取組みなど、地域の自治体や事業者が一体となって今後も取組みを継続する。

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
16	外国人観光客を主なターゲットとする信州シルクロードを核とした広域観光連携事業	タイプ I	1,242,000	指標①	ワークショップ参加者数	30	人	平成28年3月	43	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	外国人誘客に向けた取組に期待する。 インターネットでの外国語や地域での外国語表記での取組も大切だと思う。 外国人だけでなく日本人にも発信した方が良いのでは。 ターゲットを明確にして取り組んでほしい。	事業の継続	今後については、信州シルクロード連携協議会ホームページでの発信や外国語パンフレット配布を通して、外国人誘客を意識した取り組みを継続する。
				指標②	ホームページアクセス人数	5,000	人/月	平成28年3月	2,571					
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
17	諏訪圏6市町村によるSUWAブランド創造事業	タイプ I	4,345,000	指標①	研究会参加者数	30	人	平成28年3月	33	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諏訪の産業として発展する取組を継続的に行ってもらいたい。</li> <li>・工業と商業のブランド化にロケットが役立つのか。「諏訪地域発」に向けた取組が必要。</li> <li>・地元産業への就職につながる事業など思われる。</li> <li>・中小企業の技術は開発のために存在し、その技術力向上は研究ではなく、様々な製品開発を通じて磨かれる。これを活用すると収益に結び付かない部分をたくさん抱えることになるので注意が必要。</li> <li>・もっと東京の大学に対して積極的にアプローチする組織の充実を望む。</li> </ul>	事業の継続	引き続き、小型ロケットを対象とした教育研究プログラムを通して人材育成を図り、将来の優秀な技術者を輩出し、諏訪圏における宇宙機器等の技術力向上につなげる。また、医療福祉等の成長産業分野へのさらなる参入を目指し、人材育成やSUWAブランドの浸透を図る。
				指標②	セミナー参加者数	140	人	平成28年3月	190					
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										